

かごしま未来創造ビジョン見直しに係る主な意見 座談会

No. 1

項 目	意見内容等
10年後の鹿児島県の目指す姿について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の能力を発揮できる社会 ・ 一人一人の出番，居場所がある社会，様々な選択肢があってその選択が尊重される社会 ・ 誰もが取り残されない社会 ・ 多様性に寛容な社会 ・ 多拠点生活に理解のある鹿児島 ・ ハード面，ソフト面ともに県外や海外から人を受け入れられる風土 ・ 失敗を容認する社会，新しいことをするのにリスクゼロはあり得ない ・ 自然と共生した社会，スロートゥリズム先進地 ・ 若い人を応援できる社会，しがらみ，前例主義のない社会 ・ 子ども達が新しい価値を見出す可能性を与えられる社会 ・ どこまでも成長し，夢を叶えられる鹿児島 ・ 世代を問わず，稼ぐことが自由にできる鹿児島 ・ マネタイズ（収益化）できる鹿児島
鹿児島県の優れている点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鹿児島愛，連帯感が強い ・ 地域を守っていきたいという意欲のある人が多い ・ 防災意識の高さ ・ 世界自然遺産と世界文化遺産に代表される自然，文化，歴史，食などの豊かな素材，多様な日本一 ・ 個性豊かな離島 ・ 食料自給率の高さ ・ 自然との共生ができている地域があること ・ 温暖な気候を生かした農業の生産体制 ・ 観光，宿泊，畜産等中堅の優良企業がかなりある
鹿児島県の改善が必要な点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 役割分担意識が強く，女性や若者の声を生かしていない ・ 性的マイノリティー，多様性についてのビジョンが見えない ・ 九州の中でも教育が遅れている ・ 交通体制の整備 ・ 若者の防災活動への参加が少ない ・ キャッシュレスが遅れている，ITインフラが弱い ・ 地域にお金を落とせる仕組みづくり ・ 素材に頼り，付加価値を生み出すのが苦手 ・ 日本一に固執しており，次のステージが用意できていない。 ・ 若者の県外流出，やりがいのある就職先があれば残る ・ 出て行っても帰ってきてもらえる環境整備 ・ 自分の地域や離島を知らず，優れている点を自慢できる県民が少ない

項目	意見内容等
目指す姿にするために必要な取り組みについて	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新たな仕事を創出する力を身につける ・ 学校でのキャリア教育（外部人材の活用） ・ 子ども達が鹿児島を誇れる仕組みづくり（大島紬，薩摩焼） ・ 自由に学び，自己の成長欲求を満たして満足度を上げるリカレント教育 ・ 鹿児島で教育を受けさせたいと思う環境づくり ・ 教育への民間経験者の活用 ・ 学校間の連携 ・ 自分の枠が常識となってしまっており，思考の破壊が必要 ・ 子どもと地域で活躍する人を繋げる場づくり ・ 女性が働きやすい職場づくり，魅力ある職場づくり ・ 国際社会がこうなっているというトップからのメッセージ ・ 交通網の整備，MaaS（マース）の推進が必要 ・ ITの積極的導入，IT教育が必要，情報格差が教育格差となり，賃金格差とつながる ・ 離島の活用，島々を一体化させる取組 ・ 前例主義を脱却する企業への補助制度（デジタルやカーボンの分野等） ・ 畜産のスマート化 ・ 新規産業と伝統文化産業のマッチング ・ 県域を越えた広域連携 ・ 地域自治体との協働体制 ・ データ分析 ・ 人口減少社会では全てを救うのは難しく，取捨選択が必要 ・ 県の自主財源の増 ・ SDGsの教育は素地として中学生から必要である

かごしま未来創造ビジョン見直しに係る主な意見 県民アンケート

No. 1

項 目	意見内容等
10年後の鹿児島県の目指す姿について	<ul style="list-style-type: none"> ・自治体や民間、住民等の協力体制が構築された鹿児島 ・人々が助け合いながら生き生きと生活できる（活力・活気のある）鹿児島 ・結婚、妊娠、出産、子育ても安心して取り組める鹿児島 ・ワークライフバランス（男性の育休取得率の向上 等） ・世代間で支え合う鹿児島 ・多様性を受け入れ、外国人含め全ての人活躍できる鹿児島 ・国際性を重視した教育 ・住民の連帯感・安心感を実感でき、住み心地が良く移住者も増えるような鹿児島 ・更なる観光振興、観光客の増加、自然の観光への有効活用 ・農畜産業の更なる振興、農業従事者の増加（新規就農者増）
鹿児島県の優れている点	<ul style="list-style-type: none"> ・合計特殊出生率の高さ（全国平均より高い） ・人の温かさ ・ボランティア活動を行う人の多さ ・自然豊かで魅力的な離島 ・自然が豊富、自然と都市の調和・融合 ・世界自然遺産と世界文化遺産に代表される豊富な観光資源 ・歴史的町並みや施設の保存、伝統文化の多さとその保存 ・食べ物のおいしさ、農畜産物の品質の良さ、資源の豊富さ ・盛んな農畜産業 ・都市部における公共交通機関の充実
鹿児島県の改善が必要な点	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少、出生率の低下、少子高齢化 ・子育て世代への支援、子育てしやすい環境 ・子どもの貧困率の高さ ・待機児童の多さ ・ジェンダー格差、男女の役割分担意識 ・教育の選択肢 ・在住外国人の支援、外国人労働者の受入、多言語表記 ・地域コミュニティの衰退、住民間の連帯感の希薄化 ・伝統文化の継承・県内における地域間格差（人口、医療、経済・産業、交通 等） ・最低賃金の低さ ・公共交通機関の利便性の悪さ、交通系 I C の未発達 ・鹿児島市以外の観光地へのアクセスの悪さ ・若者の県外流出、労働力不足 ・第 1 次産業従事者の減少（若手の農業従事者の少なさ） ・情報発信力の弱さ、プロモーション戦略

項目	意見内容等
<p>目指す姿にするために必要な取り組みについて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・結婚, 出産, 子育て支援の充実, 子どもの拠点づくり ・県民の健康管理 (健康診断の受診促進 等) ・働きやすい職場環境, ワークライフバランスの推進 ・外国人労働者の活用 ・男性の育児参加 ・教育の充実 (環境教育, 職業教育, 社会教育 等), 人材育成 ・地域の交流機会の増加, 地域課題の共有化, 伝統文化の継承 ・移住促進 ・世界自然遺産の魅力発信 (奄美・屋久島の空路, 航路創設) ・情報発信の強化 (SNSの活用, 多言語表記, ホームページの改善) ・本土と離島を結ぶ交通網の充実 ・公共交通網の整備・充実, 利便性の向上, 多言語表記 ・高齢者や子供, 障害者など全ての人に安全な交通環境の整備 ・観光地整備 ・大隅半島の観光振興 ・若者の就業先の確保, 企業誘致, 起業支援, 最低賃金の上昇 ・新規就農者の増加に向けた支援, 農業のICT化 ・農業のイメージの一新, 農業と企業の連携 ・自然とのふれあい, 農業体験など体験型の充実

かごしま未来創造ビジョン見直しに係る主な意見 市町村

No. 1

項 目	意見内容等
10年後の鹿児島県の目指す姿について	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての人が心豊かに暮らせる鹿児島県 ・結婚, 出産, 子育てしやすい環境の整備 ・あらゆる方々が生き生きと活躍し, 暮らしていける鹿児島 ・ICT教育の充実 ・交流人口の増加による地域活性化 ・新たな感染症への対策強化 ・持続可能なまちづくり ・ゼロカーボン立県 ・持続可能な資源循環型社会の形成 (再生可能エネルギーの活用) ・幸福を感じ, 安心して暮らせる鹿児島 ・災害に強い安心・安全なまちづくり ・離島と本土の格差のない生活, レジリエンスの向上 ・ニューノーマルを取り入れ, 人や自然・経済が共生し, 安心して暮らせること ・JAXA射場が立地する優位性を生かした地位の確立 ・新たな仕事を発想する力や創造する力を養い, 生まれ育った地域で活躍できる場のある鹿児島県 ・アジア地域との交流拠点 ・起業支援や企業誘致による産業振興, 競争力の強化 ・日本随一のデジタル立県 ・伝統ある地場産業, 歴史・文化を最大限に生かしたまち ・恵まれた資源の再認識と更なる磨き上げによる県の浮揚発展 ・特徴ある各地域資源の維持向上に努める取組 ・第二の明治維新を起こすバイタリティー溢れる県
鹿児島県の優れている点	<ul style="list-style-type: none"> ・素直な県民性 ・地理的優位性 ・南北にわたる美しい島々 ・自然豊かな環境 ・歴史や文化, 伝統工芸品 ・豊富な地域再生エネルギー ・豊富な温泉資源 ・JAXAの射場 ・世界遺産などに代表される魅力ある観光資源 ・ブランド力のある農畜産品, 豊富な農林水産物
鹿児島県の改善が必要な点	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少 (少子高齢化), 若者の県外流出 ・健康に関する意識の向上 ・離島地域の医療体制 ・医療費や扶助費等を含む社会保障制度

項目	意見内容等
鹿児島県の改善が必要な点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 男女共同参画や多様な働き方 ・ 固定的性別役割分担意識 ・ 公共交通機関の充実, 交通アクセス機能の向上 ・ 離島間の連携 (離島の情報発信) ・ 離島への物資輸送 ・ 離島と本土の格差の是正 ・ 観光や農産物のブランド化 (知名度の低さ), P R戦略 ・ 労働力不足, 後継者不足, 農業従事者の担い手不足 ・ 過疎地域における非食品関連産業の振興 ・ 鹿児島市への一極集中 ・ 地域コミュニティの衰退 (地域活力の低下) ・ 大規模噴火に対する広域避難対策, 自然災害対策 ・ I C Tの活用 ・ 閉鎖的な県民性
目指す姿にするために必要な取り組みについて	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子育て環境の充実など少子化対策の推進 ・ 交流人口の拡大 ・ 外部人材の積極登用, 外国人の積極的な受入と体制の充実 ・ 医療, 福祉, 介護等の体制を充実し, 安心して健康で快適に暮らし続けることのできる環境づくり ・ 医療体制等の離島と本土地域の格差是正 ・ J A X A射場を活かした地域振興 ・ 様々な価値を有する離島の活用や保全 ・ S D G sに対する積極的な取組 ・ カーボンニュートラルの達成に向けた取組, 恵まれた自然環境を活かした再生可能エネルギー等の普及促進 ・ アフターコロナを見据えた観光の強化策の検討 ・ デジタル社会の推進や若者の雇用の場の創出, I T関連企業の誘致 ・ 幼少期から発想力や想像力を育む教育事業の実施 ・ データ社会の実現に向けた人材育成, 柔軟な働き方ができるテレワークの推進 ・ 産業分野に対するA IやR P Aなど科学技術の活用支援 ・ 行政手続のデジタル化の推進 ・ 住民へのI C Tに関する学習機会の提供 ・ 地域産業の生産性・収益性の向上や観光消費額を高めるなど「地域の稼ぐ力」を向上させる取組 ・ 農林水産物のブランド化, I C T活用による作業効率化・品質向上・生産量増

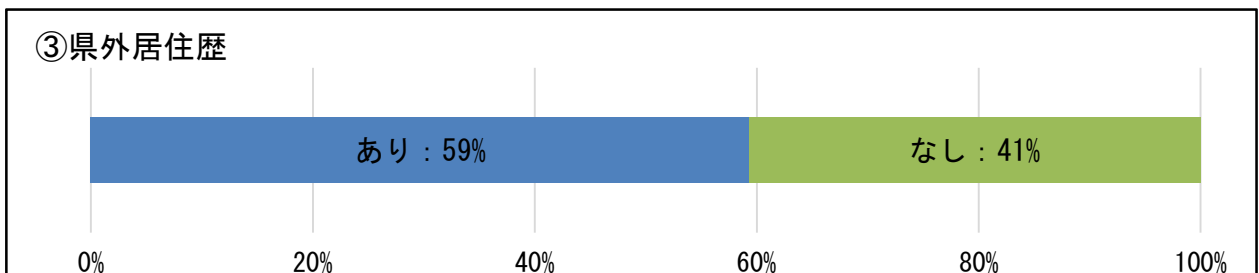
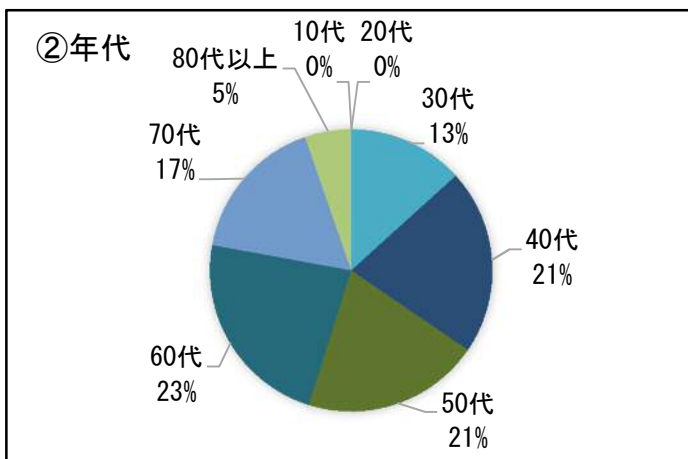
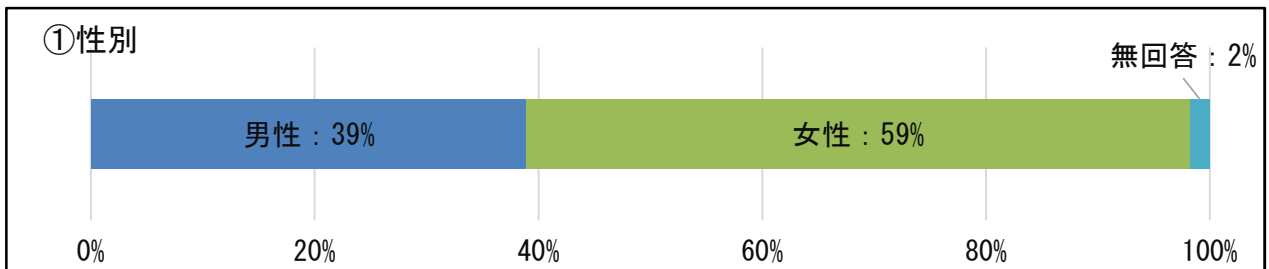
県政モニター調査結果

1 調査対象

- (1) 目的 幅広い世代、地域の県民の意見を調査するため
 (2) 対象 県が県政モニターを委嘱している者
 (3) 時期 令和3年7月
 (4) 調査対象者数 200人
 (5) 回答者数 113人（回答率56.5%）

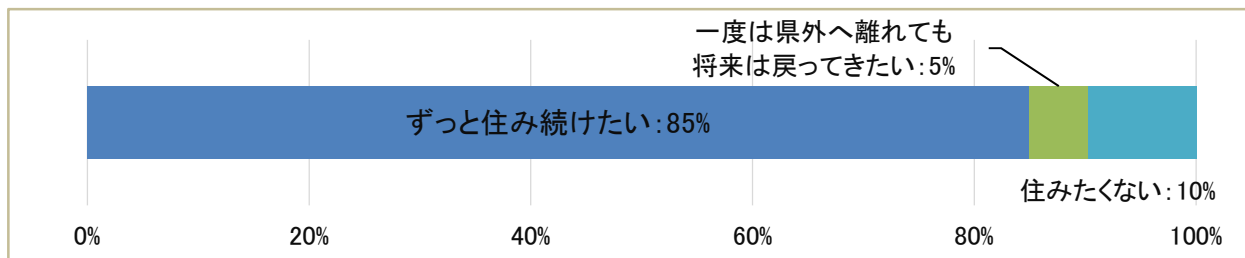
2 調査結果

(1) 回答者属性



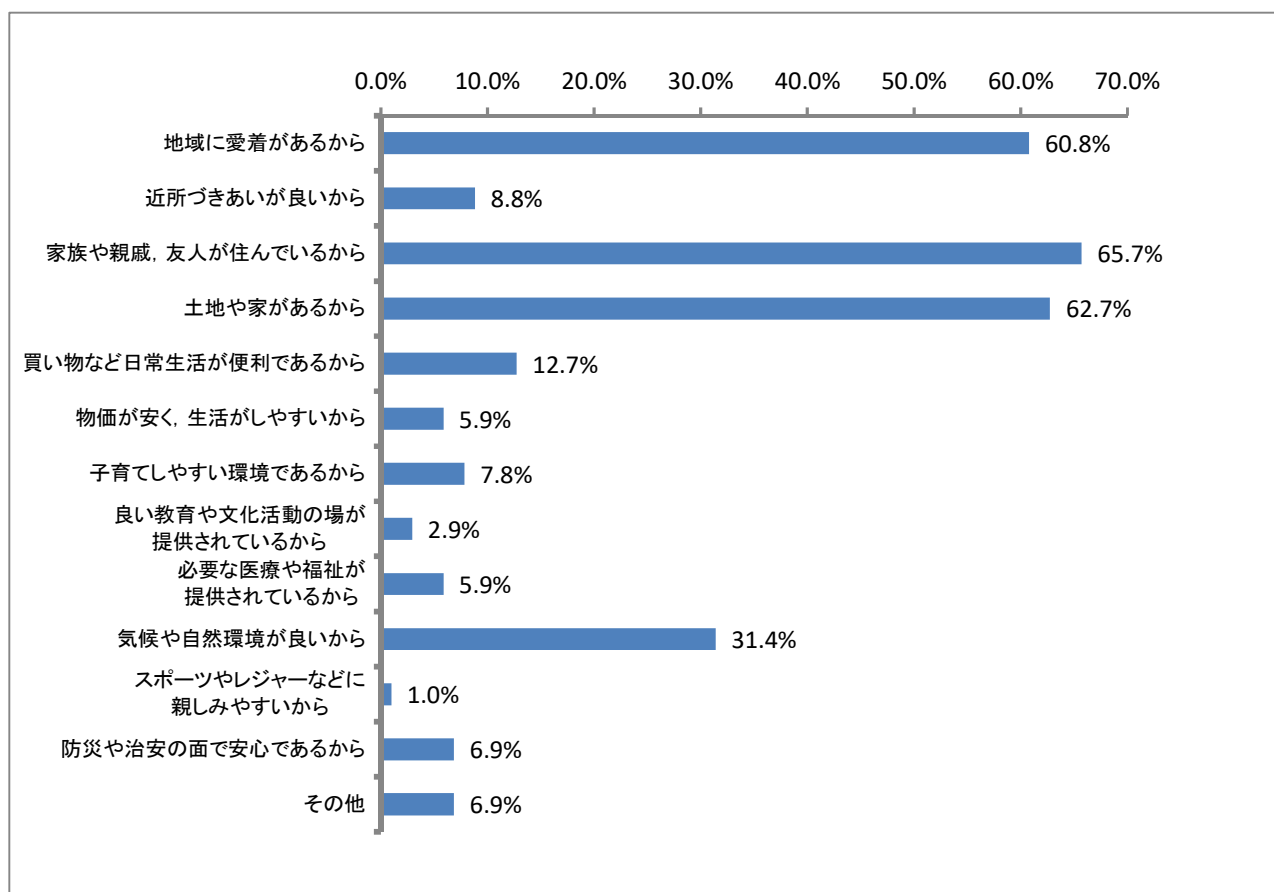
〔県外居住歴の平均〕14.3年

(2) 居留意識



(3) 住みたい・離れても戻ってきたいと思う理由

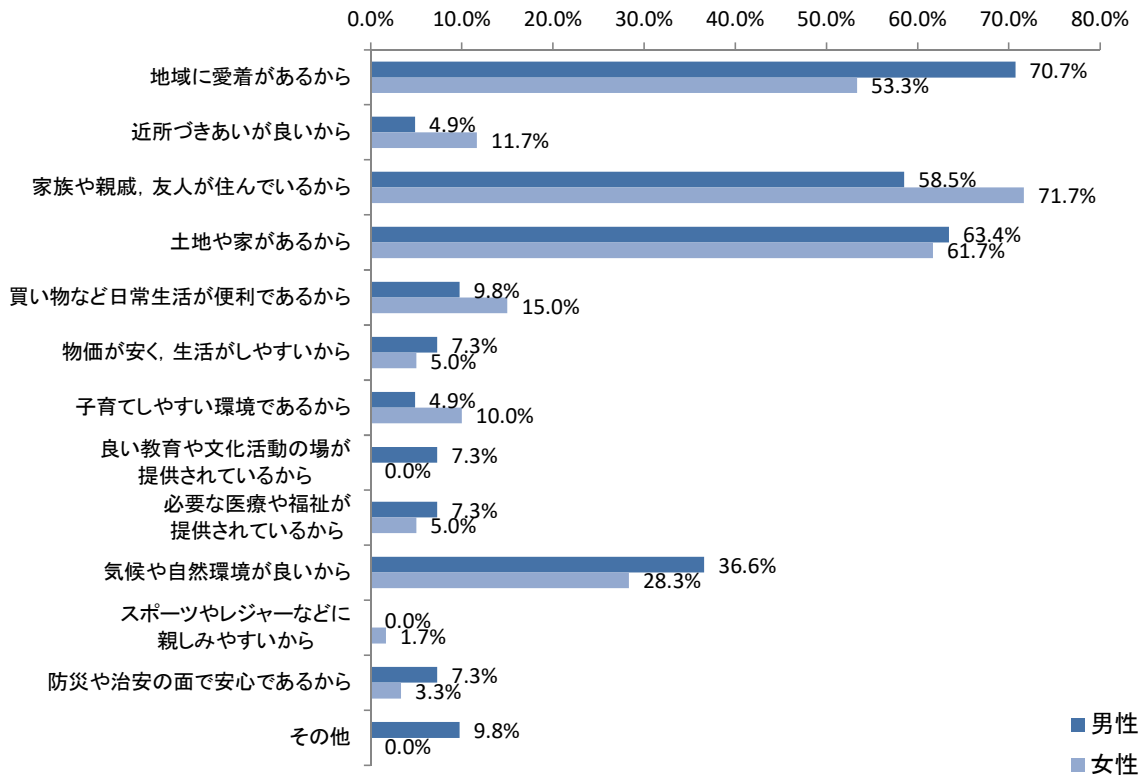
- ・ (2)で「ずっと住みたい」または「一度は県外へ離れても将来は戻ってきたい」を選択した方（102名）が回答
- ・ 数値は、回答者のうち各項目を選択した方の割合
- ・ 該当する項目を上位3つまで回答する方式



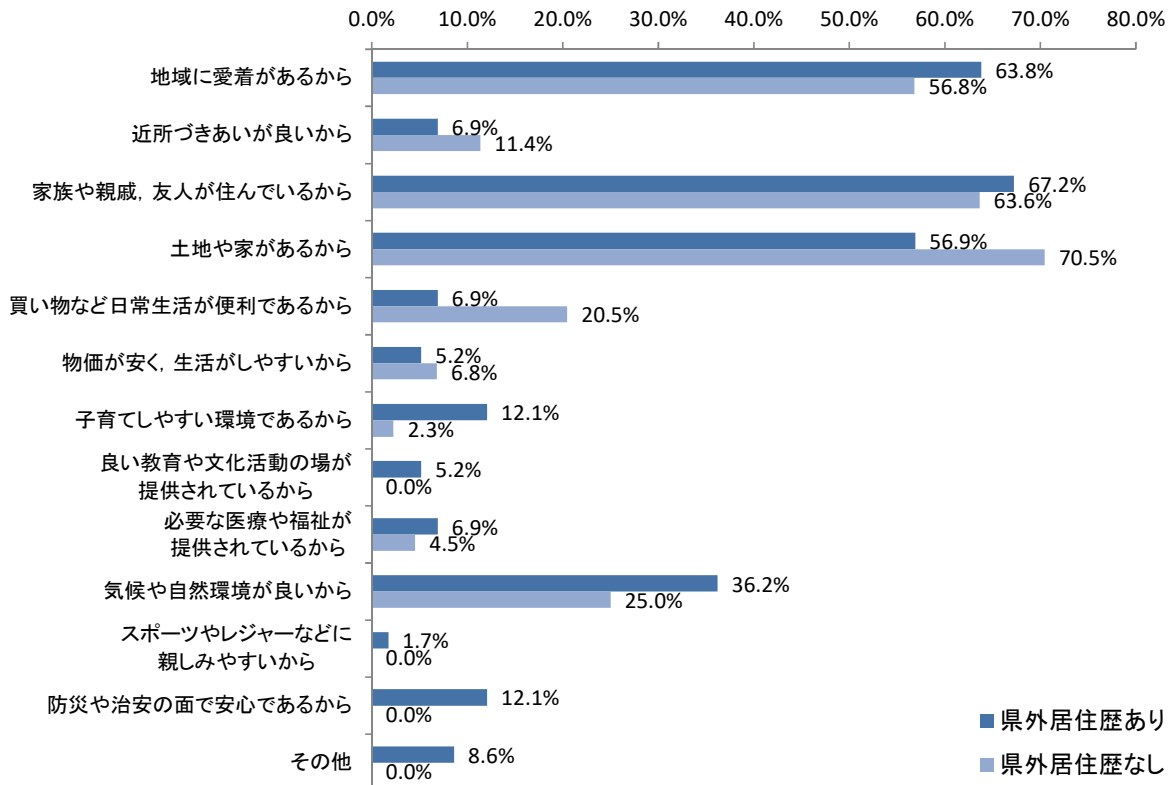
〔その他の主な意見〕

- ・ 食べ物がおいしいから
- ・ 離島の文化や生活が好きだから 等

【男女別】

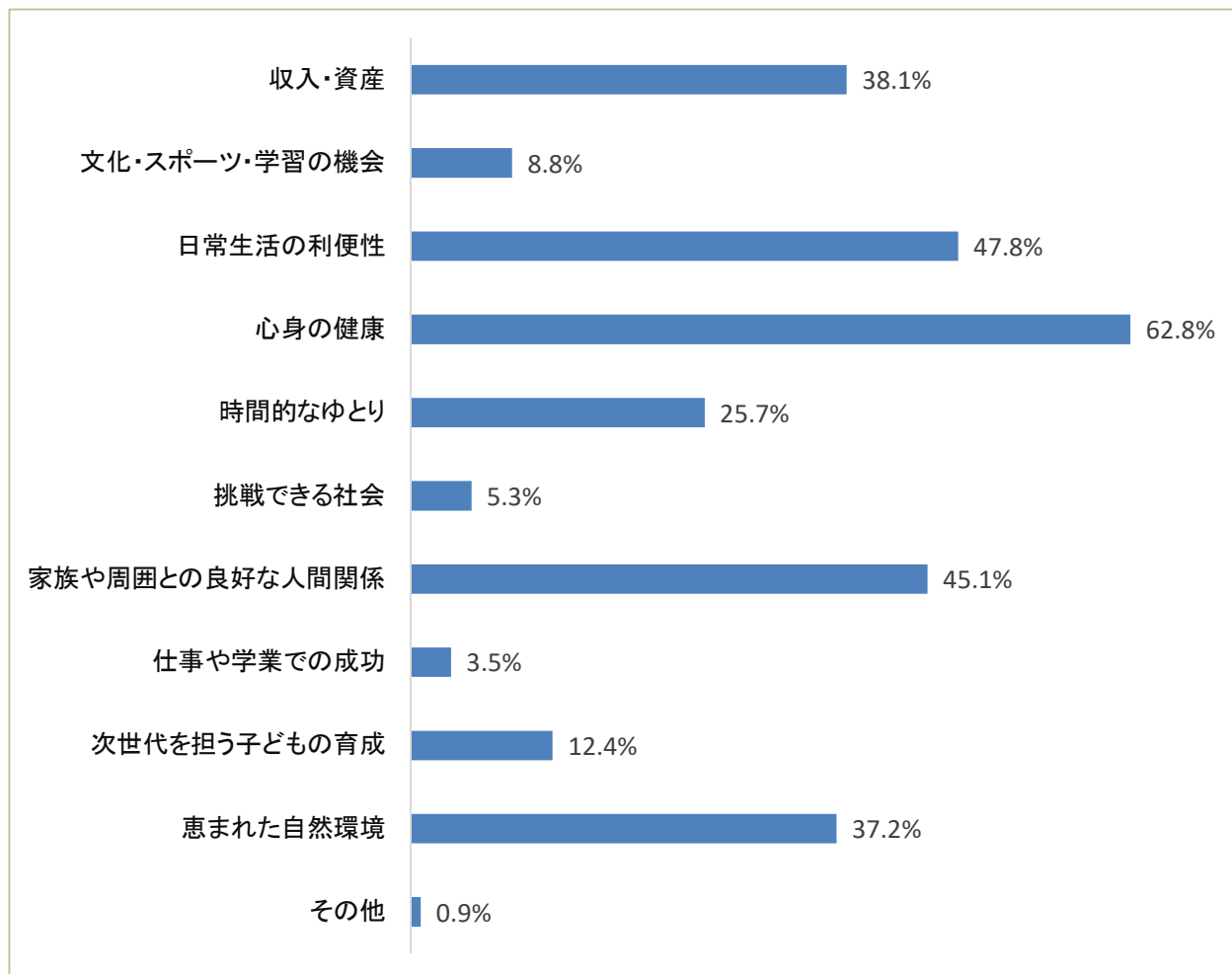


【県外居住歴別】



(4) 生活する上で重視しているもの

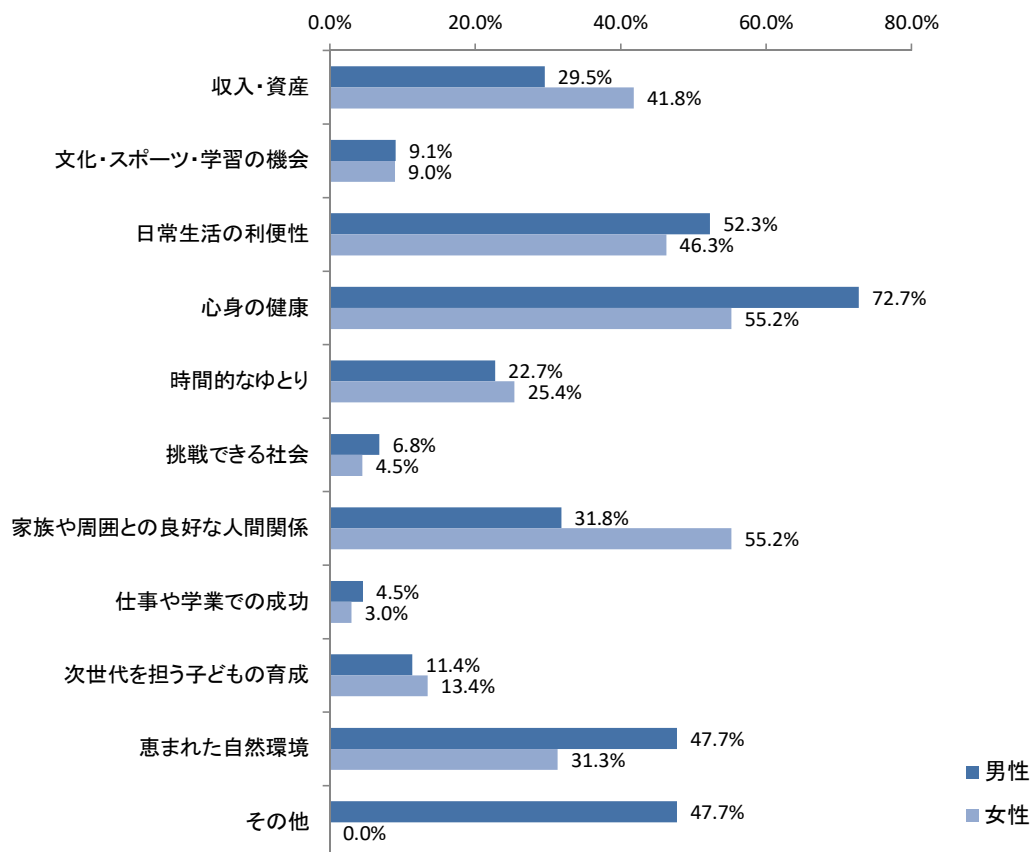
- ・ 数値は、回答者のうち各項目を選択した方の割合
- ・ 該当する項目を上位3つまで回答する方式



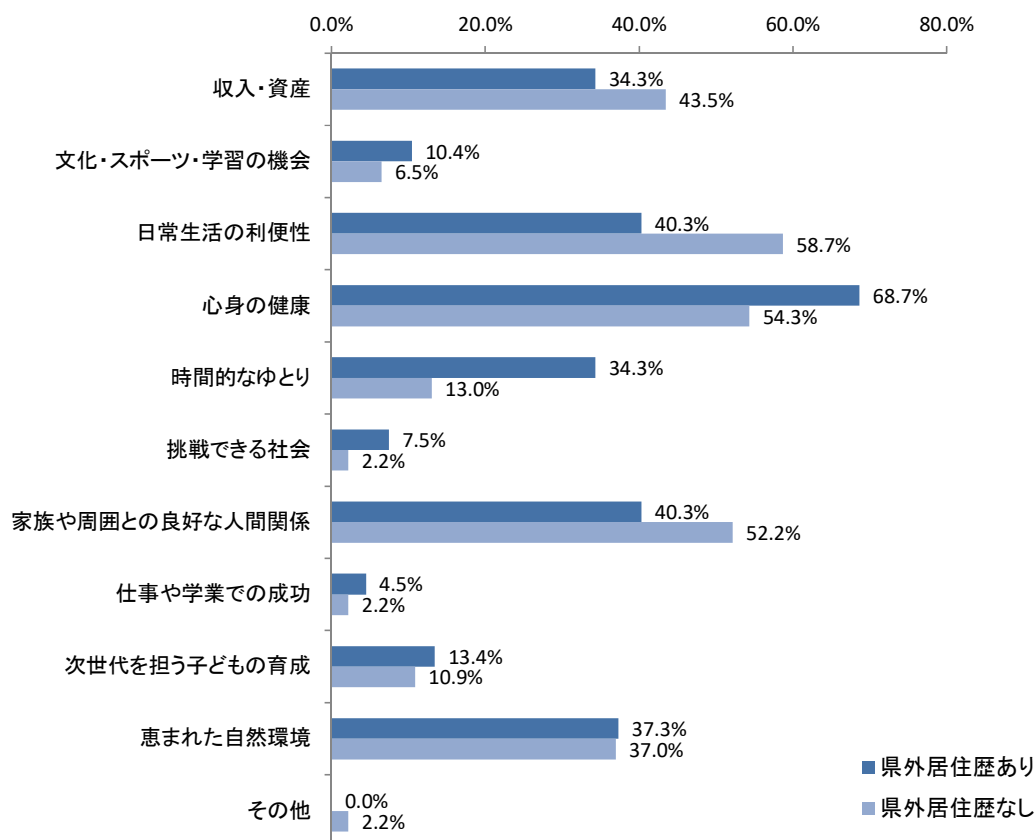
〔その他の主な意見〕

暮らしやすさ

【男女別】

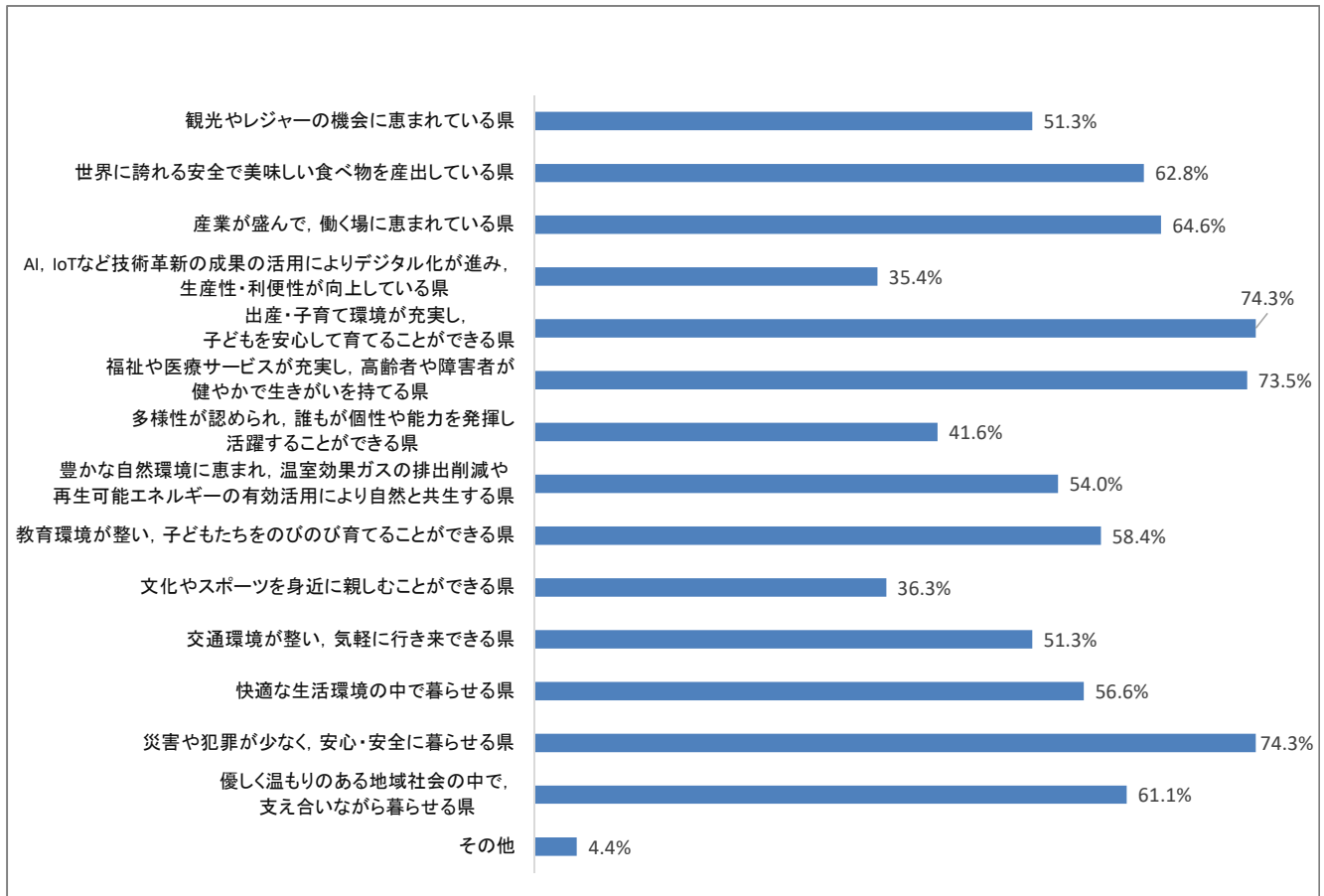


【県外居住歴別】



(5) 将来の鹿児島県に望む姿

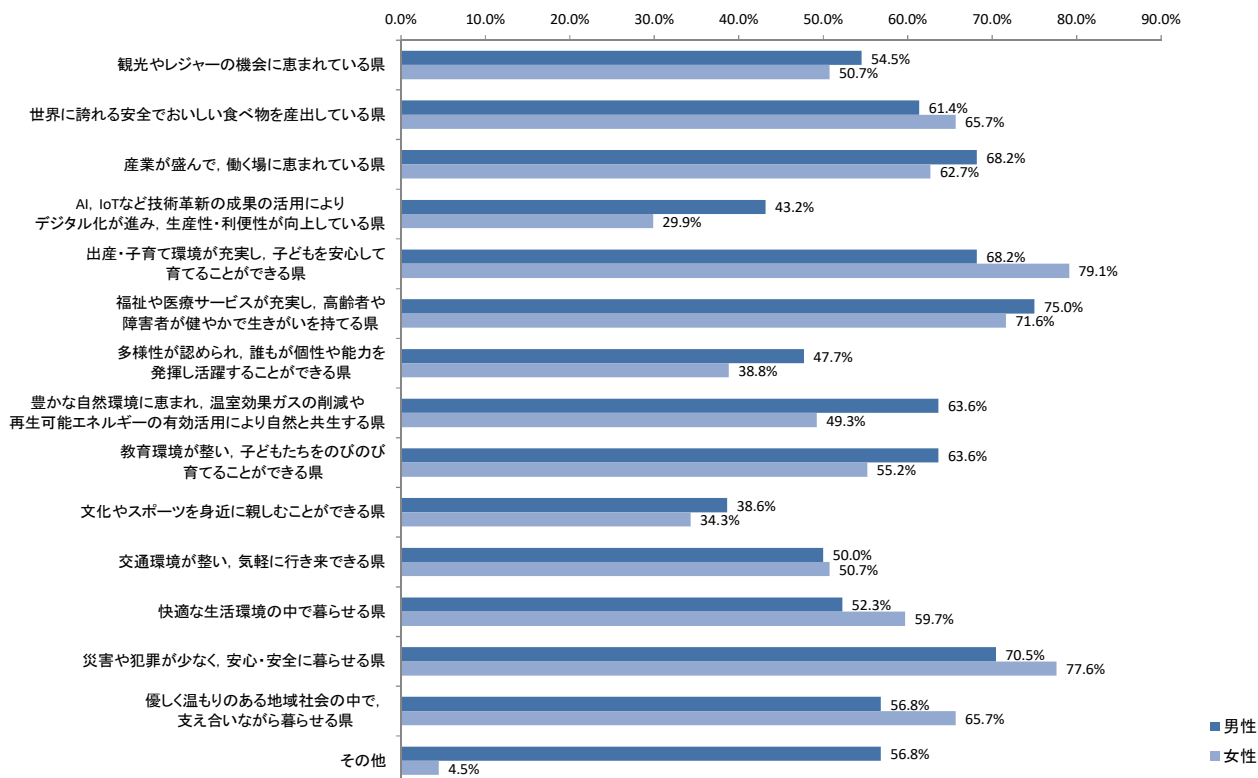
- ・ 数値は、回答者のうち各項目を選択した方の割合
- ・ 該当する項目を全て回答する方式



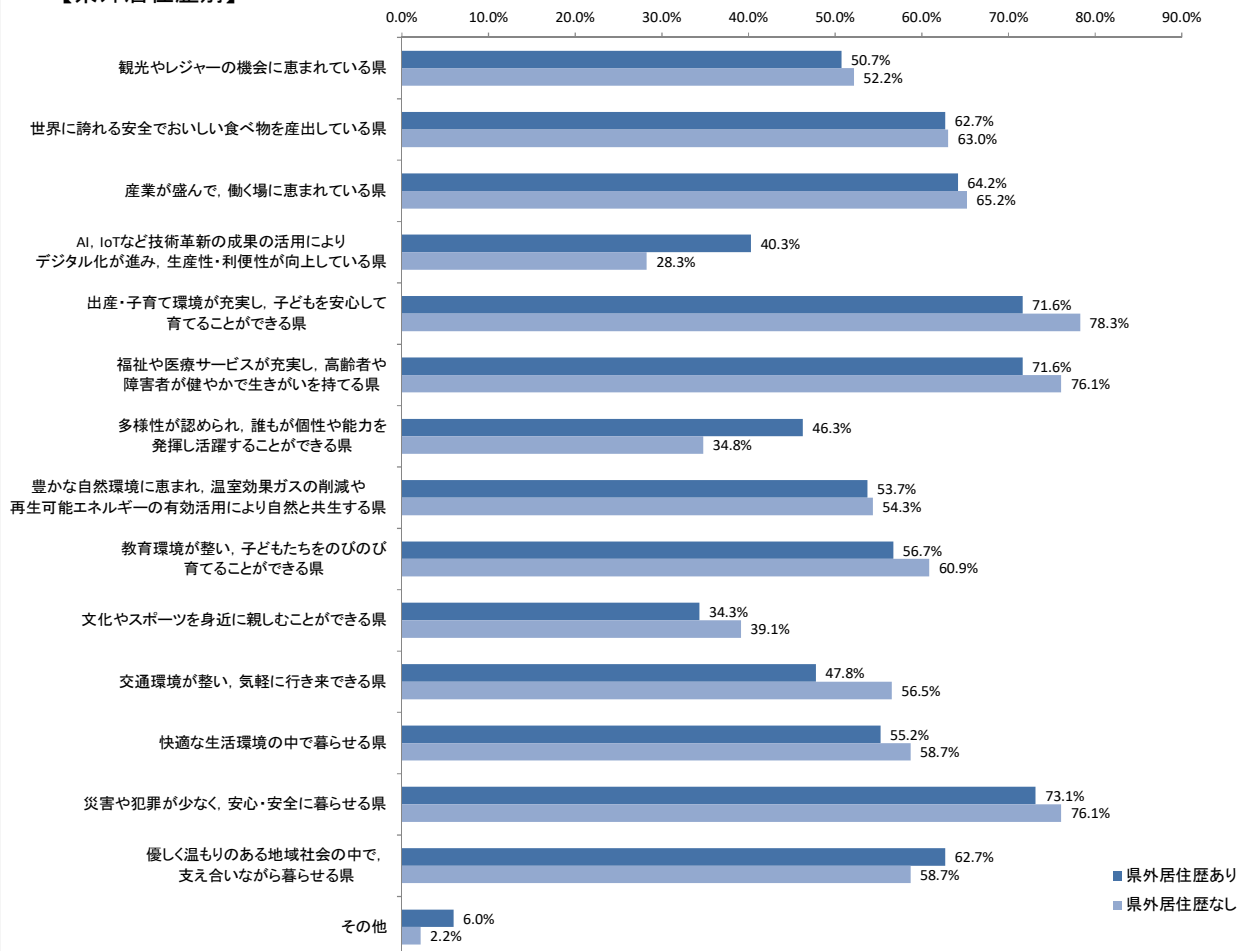
〔その他の主な意見〕

- ・ 温暖な気候の中でゆとりある生活を満喫できる県
- ・ 共育（共に育てる）を支援する育児に優しい県
- ・ 地産地消の県
- ・ 便利さばかりを追求しない県 等

【男女別】

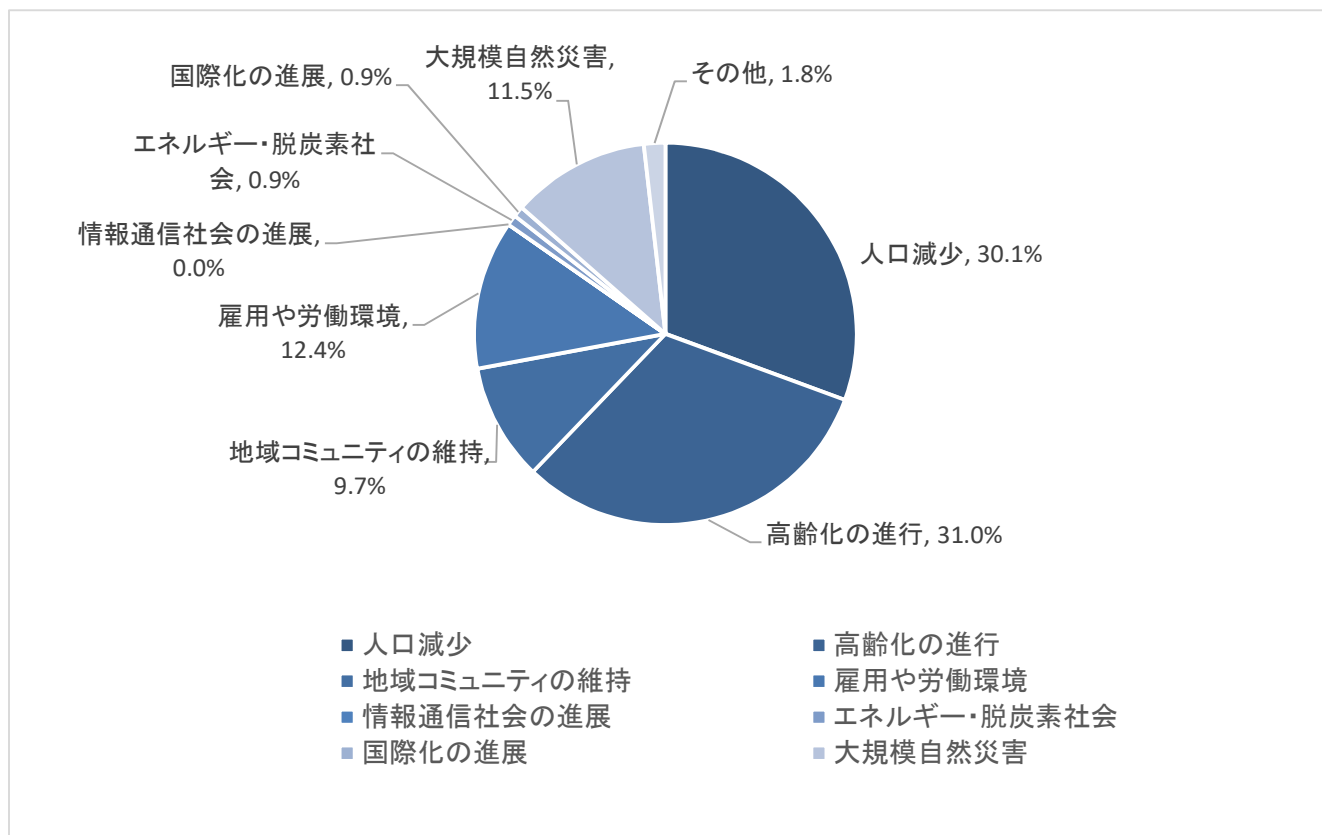


【県外居住歴別】



(6) 将来の不安

- ・ 数値は、回答者のうち各項目を選択した方の割合
- ・ 該当する項目を1つ回答する方式



〔その他の主な意見〕

- ・ すみわけがされる社会（外国籍，高齢者，貧富の差）
- ・ 基地や訓練場設置等による自然環境の破壊

かごしま未来創造ビジョンの見直しに係る自由意見(抜粋)

分野	意見内容
少人口減少・高年齢化	・人口減少を前提としたコミュニティづくりを考えるべき。
	・人口増を図るためにあらゆる環境変革や子どもの学費免除等の支援が必要。
	・人口増を図るために都市部から若年層の移住や婚活・妊活を推進してほしい。
	・少子高齢化の進行に伴い人手不足となるため、65歳以上の高齢者が活躍できる場を考えてほしい。
	・少子高齢化対策のための取組が必要。
子育て	・保育園の待機児童を解消してほしい。
雇用	・雇用や労働環境の改善が急務。
	・全国と比較し、所得や賃金が低すぎるため、対策が必要。
観光・PR	・観光や農産物等のPRは、他県の方が上手い。鹿児島県はもっとスマートさがあるといい。
	・鹿児島の豊富な食を前面に出してPRしてほしい。
	・日本の中に鹿児島ありと言われるような何か誇れるものを作りたい。
エネルギー・環境	・地熱や原子力発電の活用促進など、脱炭素社会に向けていち早く進めていくことが大切。
	・自然や環境の保全に力を注ぐべき。
情報	・コロナ禍でオンライン化が進む中、地方はより一層、オンライン・デジタルに力を入れる必要がある。
産業・経済	・経済成長を見据えながら、働きがいのある未来を。
	・産業の維持発展と新たな技術革新を目指す未来を。
	・小規模離島では人口流出が激しいので、適度でバランスの良い開発や産業の創出・振興をしていく必要がある。
	・地域経済、生産力の向上、稼ぐ力についてより明確なビジョンを示してほしい。

防災	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県民1人1人が防災知識をしっかり身につけ、災害対策を少しずつ実行に移していくことが重要。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他県や大都市に負けないところを見出してほしい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地方の過疎化を今後どうくい止めるかが問題となってくる。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生活を重視した県の創造を。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 世代を越えて地域（町内会・ボランティアグループも含めて）活性化を担うリーダーシップなど様々な分野での人材育成への働きかけを強化すべき。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 夢や幸せな未来像が描けるような未来を。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ ビジョンの中・長期の区分が必要ではないか。策定後3年後、10年後、20年後の姿など。また、数年で見直し検討を行うことも重要。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各地域毎の特性を繋ぐ、連携した施策が必要。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 若者がのびのびと自分の力を発揮できるよう、年配の人がそれをサポートする社会になってほしい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全ての県民が鹿児島に住んで良かったと思える施策の推進を図ってほしい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ ビジョンの内容があまり知られていない。ビジョンの周知を。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目をひくキャッチフレーズなど、もっと工夫してほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 政策を進めるうえで大切なことは、きちんと現状の課題と向き合い、それを解決する施策を考えること。 	